

タイムラインとSNSを組み合わせた防災対策

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
自治体	東京都葛飾区		

問合せ先：東京都葛飾区 地域防災課

取組概要

- 防災力の向上を目指して、各自治会などで構成する「地域防災会議」を設置した。
- 本会議での議論を踏まえ、**地域が一体となつて的確な防災対応**が行えるよう、**タイムライン**を作成するとともに、各自治町会が**防災情報を適時共有**できるよう、**SNSのオープンチャット**を開設した。

取組のきっかけ

- 各自治町会における役員の高齢化や、若手の担い手不足などによる防災活動の停滞感に加え、いつ起きてもおかしくない災害への危機感から、地域防災会議を組織した。
- 東日本台風による経験を踏まえ、**防災情報を効果的に活用**できるよう、**タイムライン**を作成するとともに、**タイムラインを実行するツールとして、SNS等**を活用。

取組のポイント

- **地区全体の連携による防災力の向上と各自治町会メンバーに対する防災意識の啓発**に資するよう、平成30年度に地域防災会議を設置。
- 東日本台風の際に、区内全小中学校で避難所が開設されたことを踏まえ、**台風接近時の自治町会の防災行動をタイムライン**としてとりまとめた。
- タイムラインの運用にあたっては、自治町会のメンバーへの**情報伝達・共有ツールとしてSNSのオープンチャットを開設**。実効性を高めるため、**タイムラインとSNSを活用した訓練も適宜実施**している。
- 情報共有の仕組みを構築するとともに、**デジタル化への一歩を踏み出す**ことができた。自治町会のメンバーは年配の方が多いが、**訓練参加者のほぼ全員が、今後も継続して活用する意向**を示している。

コミュニティ・タイムライン

奥戸地区は区が避難呼びかける地域別では奥戸1～8丁目「南部地域」、奥戸9丁目は「東部地域」に該当します。

時間(目安)	タイムラインレベル(注)	タイミング・判断基準	行 動	役割分担 (②T時、①行動実施)	アクションカード番号
-150分 (5日前)	レベル1 (留意段階)	台風が発生し、奥戸地区は地域の「暴風」「大雨」で「高」または「中」の日がある場合	各自、台風情報・気象情報を見直す	町会連合 自治町会	アクションカード①(情報収集)
-40分 (2日前)	レベル2 (注意段階)	区災害対策本部(第1回)が開設され、避難場所として施設コミュニティ活動の機能が活かされた場合 区災害対策本部(第2回)が開設され、小中学校避難場所の開設が済んだ場合	① 地区センター長は、区の対応を把握して伝達する ② 地区センター長は、区の対応を把握して伝達する ③ 地区センター長からの依頼を受けて、自治町会役員及び避難所運営委員会メンバーに区の対応を伝達する ④ (できる範囲で) 地域住民に防災対策を呼びかける ⑤ 避難所から避難所まで呼びかけを行う(必要時)	町会連合 自治町会	
-30分	レベル3 (高警戒段階) 災害発生への恐れ	警戒レベル3(高警戒等段階)が発令された場合	① 町会、河川の水位を定期的に確認する ② 町会連合で、避難所を呼びかける ③ (できる範囲で) 避難所等(高警戒等)に避難を呼びかける ④ (できる範囲で) 避難所等(高警戒等)に避難を呼びかける ⑤ 町会、河川の水位を定期的に確認する	町会連合 自治町会	
-20分	レベル4 (非常警戒) 災害発生への恐れが強い	警戒レベル4(非常警戒)が発令された場合	① (できる範囲で) 避難所等(高警戒等)に避難を呼びかける	町会連合 自治町会	
-5分	レベル5 (緊急安全確保) 災害発生への恐れ	警戒レベル5(緊急安全確保)が発令された場合又は 奥戸の避難所(上)に水位超過警報が発表された場合 避難所(上)に水位超過警報が発表された場合	① 地域住民は各自、安全な場所へ避難を完了する	町会連合 自治町会	
-0分	災害の収束	奥戸の避難所(上)に水位超過警報が解除された場合	奥戸の避難所(上)に水位超過警報が解除された場合	町会連合 自治町会	
台風通過後	レベル5以上が発令され、避難所が解除されたとき	町会連合で、避難所を呼びかける	① 町内の避難所等の機能を再確認し、地区センター長に報告する	町会連合 自治町会	

※時限解除の場合は、奥戸下流タイムラインが適用されます。奥戸以外の奥戸の区画のおそれがある場合にも、-70分までの動きは同様とします。

タイムラインを実行するツールとしてSNSを活用

<早期注意情報>
【タイムラインを発信します。】
最新の気象情報によると、猛烈な勢力に発達した台風16号は、来週10月1日頃、関東に接近して、大荒れとなる可能性があります。

東京地方では10月1日、暴風・大雨・洪水警報を発表する可能性があります。

早期注意情報(警報級の可能性)は、10月1日、大雨「中」、暴風「中」です。

奥戸地区コミュニティタイムラインに基づき「タイムラインを発信」します。
タイムラインレベルは1です。各自、台風や気象情報の収集を行ってください。
現在のタイムラインレベルは1、アクションカード①を実行します。

※奥戸地区連合本部事務局で、情報発信者が決まるまでの間、暫定的に代理発信しています。



取組の効果

- タイムラインとSNSを組み合わせて活用することにより、災害時に、防災情報や避難所の開設情報などをスムーズに共有。連携しながら迅速な防災対応に繋がっていき考えられる。